

平成28年度 半期(年度) 事業評価書

評価対象期間	平成28年4月～平成29年3月分
施設名	鳥取市菟片原駐車場
指定管理者名	株式会社 大幸電設
指定管理期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日
施設所管課名	都市環境課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課		
	自己評価	評価	確認方法	備考
I. 公共サービスの実施状況				
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	書類、聞取 現地確認	
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	書類、聞取 現地確認	人員配置は過不足なく行われており、休日や悪天候の日にも対応できる体制である。
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	書類、聞取 現地確認	社員には現地および本社での研修期間が確保されている。パート職員には、OJTによる研修体制が確立されている。
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞取 現地確認	福祉車両などを除き、平等利用が確保されている。
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	書類、聞取 現地確認	帳簿の作成および管理は適切になされており、月次の報告書により確認することができる。
6 減免対象者は、適切に減免しているか			聞取	減免対象者なし。
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	4	4	書類、聞取 現地確認	地域の防災活動の場所提供、他施設と共同した地域還元活動を行っている。また、職員のボランティア活動への参加等、社会貢献への意識も窺うことができる。
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	3	3	書類、聞取 現地確認	アンケート結果を施設内に掲示し、結果を早期に反映させている一方で、アンケート調査の母数が少ないことが課題としてあげられる。
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	書類、聞取	
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	4	4	書類、聞取 現地確認	定期的な利用者獲得のため、冊券の販売方法の改善を行っている。(定期的利用者は増加傾向にある)
II. 施設の維持管理の実施状況				
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	3	書類、聞取 現地確認	仕様書に沿って適切に行われている。
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	4	4	書類、聞取 現地確認	修繕等の計画は、その都度、報告書が市に提出され、確認を行える体制が形成されている。
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞取 現地確認	
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	書類、聞取	
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	書類、聞取	
III. 施設の経営状況				
16 事業収支は妥当であるか	4	4	書類、聞取 現地確認	月平均で約4000台程度の駐車があり、安定した収入となっている。年度当初の事業計画以上に収入が大きい。
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	3	3	書類、聞取 現地確認	今後は職員の再配置によって、施設にかかる経費の節減を検討している。
IV. 法令等の遵守状況				
18 個人情報の管理は適切に行われたか	3	3	聞取	レンタサイクル事業において、収集した個人情報は、本人立会のもと、シュレッダーをかけるなど手順が具体化されている。
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞取	
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞取	
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	書類、聞取	

確認する内容	指定管理者	施設所管課			
	自己評価	評価	確認方法	備考	
V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞取 現地・HP確認	HPで情報公開が行われている。
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	3	3	聞取 現地確認	
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	書類、聞取 現地確認	月報や年度報告書による業務の報告をはじめ、修繕計画などの報告も行われている。
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か	3	3	聞取 現地確認	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	書類、聞取 現地確認	

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	経営状況及び財政状況は、特に問題ないと考えております。
施設所管課	施設の経営状況としては、冊券の販売方法の改善や諸経費の節減などにより、平成27年度と比較しても黒字幅が増加しており、経営状況に問題はないと判断する。 また指定管理者団体の経営状況は、選考年度およびそれ以前の経営状況指標と比較しても大きな差異はなく、今後も継続して当該施設の管理業務を行うことが可能であると考えられる。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	レンタサイクル事業において、県外及び一般利用(駐車場未使用)が少なからず増加傾向にあります。今後もPR方法を見直し更なる事業拡大を目指します。
施設所管課	レンタサイクル事業は、主に県外の観光目的の利用者が増加していることもあり、駐車場HPやその他のPR方法によって、さらなる利用者の獲得が期待できる。またコミュニティホール事業では、ホールが地域活動や休憩所の場所として定着しつつあり、駐車場の認知度の向上に貢献していると考えられる。

4. 総括コメント

指定管理者	本年度も塗装修繕を実施し施設の保全に努めました。また、冬季には除雪作業を行い、駐車場の機能を停止させることなく運営できたことにより、利用者の信頼を獲得できたことで利用増へ繋がったものと考えます。合わせて土日を含む休日の利用も拡大しているところであり、より一層の利用増加が期待できます。
施設所管課	計画書・仕様書などに沿って、日常清掃や点検、自主事業など円滑な駐車場運営が行われている。また、悪天候やイベント時も特に問題なく対応がなされている。収益も安定しており、経営も特に問題のない状態だと考えられる。一方で、満足度調査やPRの手法など、改善によりさらに効果的な駐車場運営を行うことができる部分もあるため、そうした部分を改善しながら、今後も適切かつ効率的な運営を行っていただきたい。

※記入について

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている
確認方法 (施設所管課のみ)	書類確認、聞き取り、現地(館内)確認、実態確認等	
備考 (施設所管課のみ)	評価区分が3以外である理由やその他の特記事項	